

# anki

高松スタイル

# あんき-7号

2011 SPRING

まちを  
デザインする

丸亀町再開発の中間報告

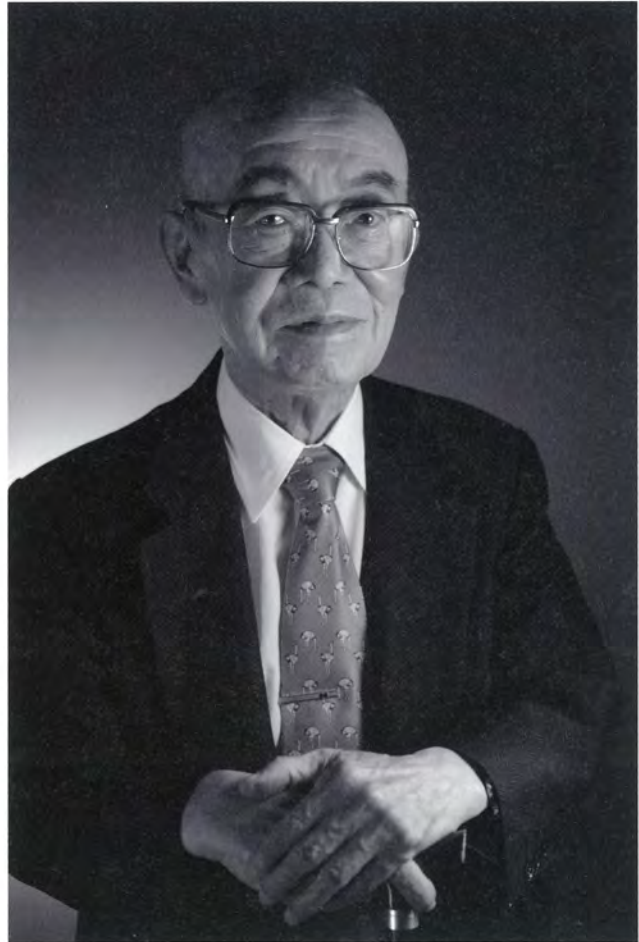
青天井の  
ガラスのアーケード  
完成

さぬきの  
匂を味わう  
12カ月

私の宝物

特別注文の贅沢





鹿庭幸男氏

株式会社カニワ代表取締役会長  
高松中央商店街振興組合連合会理事相談役  
享年86歳

人を愛し丸亀町を愛し郷土を愛した、故・鹿庭幸男氏。

ドラマを見て泣いてしまうというロマンティストでありながら

戦前・戦後の苦難を乗り越えてきたビリリとした厳しさも併せ持つ。

1980年代当時、坪300万円以上売り上げる絶頂期に

丸亀町商店街の将来を見通し、再開発を考えたという。

あるインタビューで氏はおっしゃった。

「一番大切なのは人間関係です。」

地域の人々との関係を大切にしていくなのが丸亀町の再開発です。」

近頃、商店街を一度も挨拶せず通過する日は珍しくない。

日々薄れゆく現代社会の人間関係、そして新しく生まれ変わる丸亀町。

人が集い、人と人との交流が生まれ、そして新たな楽しさが続いていく街へ。

そうやってほしい。

氏の言葉が心に残る。

安気(あんき)＝ 縦横弁で心に苦しみがなく、気楽で穏やかなこと。高松スタイル「anki」は、高松丸亀町商店街が目指す、「日常の豊かさ」を大切にしたい新・高松ライフを提案します。



【表紙写真】新しいアーケードが明るい。家族で休日を楽しむのは観音寺から遊びに来たUさん一家。センスあふれる小物や自然食品が並ぶ店でお買い物。食事は、新鮮な野菜を使った料理が並ぶバイキングレストラン。家族で楽しんだ一日。

◎撮影：仁田貴夫

## CONTENTS

### 特集・まちをデザインする

03 丸亀町再開発最前線！

青天井のアーケード完成

05 丸亀町再開発の中間報告

丸亀町がデザインする  
「まちのかたち」

09 まちづくりプロフェッショナル対談

これからのまちを、  
どうデザインしますか？

古川康造さん（高松丸亀町商店街振興組合理事長）  
山崎亮さん（sasai・T代表・京都造形芸術大学教授）

13 さぬきの旬を味わう12カ月

第2回・豊島レモン

15 インフォメーション

参番街・レオニアオープン  
神社のお引っ越し（G街区レポート）

17 私の宝物〜特別注文の贅沢〜

第3回・隠れ屋1632「めがね」



### marugamemachi eyes now now

丸亀町商店街の“いま”をお伝えします。



1.クリスタルドームがコンサート会場に 2.東京から参加の実力派「Sapatos」（出演予定） 3.香川で活躍するボサノヴァデュオ「フェリアード」（出演予定）

### 高松の街がステージに！

市内9ヵ所の街角に30組250名のミュージシャンが集結。

4月29日(金)は街中が音楽に包まれる。東日本大震災復興チャリティイベント「街角に音楽をフェスティバル in 高松」では、ジャズやボサノヴァ、ビッグバンドなどジャンルを超えて県内外のミュージシャンが商店街等でライブを展開。「音楽は世代や地域をこえて人と人をつなぐもの。高松の思いが少しでも被災地に届けば」と主催者の鹿庭さん。今後の予定はHPをチェック。

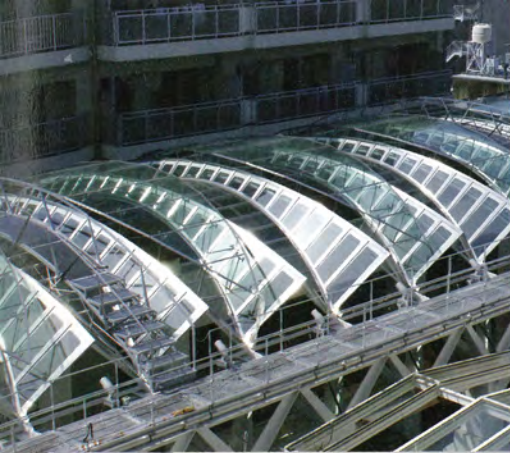
「街角に音楽をフェスティバル in 高松」入場無料

・日時/2011年4月29日(金)12:00～・場所/サンポート高松、JR高松駅、丸亀町など全9ヵ所 ◎お問い合わせ/MUSIC BLUE TAKAMATSU実行委員会  
TEL/087-851-5855・ホームページ/http://www.machikadomusic.net/

# まちを デザインする。

アーケードの完成を受けて、  
いよいよ中盤戦を迎えた丸亀町再開発。  
壱番街から参番街までの開発が進み、  
商店街のひとは、まちのひとは、  
この変化をどう受け止めているのでしょうか。  
日本中が未曾有の大地震を目の当たりにし、  
今、まちとひとの関わり方が真剣に  
議論され始めています。

一人ひとりが思えば必ず「まちは変わる」。  
丸亀町再開発のこれまでを振り返りつつ、  
これからのまちのあり方について  
考えてみました。





# 街路を快適に 青空の見えるガラスの アーケード完成

4月29日、いよいよ丸亀町商店街に、

新しいガラスの

アーケードが

オープンします。

青天井の開放的な

通りは、歩くだけで

体も気持ちもワクワク。

そんな新アーケードの

快適さの秘密を、

聞いてきました。

やっぱり商店街に  
アーケードは必要?!

今回アーケードが完成したのは、

丸亀町老番街から参番街までの

約160m。クリスタルドームと同

じガラス張りの天上からは、明る

い日差しが降り注ぎ、開放的な空

間が広がる。天上の高さは、最も

高いところで約21m。これは従来

のアーケードの約2倍、ビルの4階

部分に相当する。もちろんアーケ

ードとしては、全国一の高さを誇る。

「再開発ビルでは、商業スペースが

3、4階にもあるため、従来のアー

ケードでは視界を妨げてしまう。

そこで一からアーケードを見直すことになったんです」と語るのは、丸亀町商店街振興組合の熊紀三夫専務だ。

「アーケードについては、これまでも『必要なのでは?』という声をいただいております。しかし問題は雨の日。高松は降水量こそ少ないですが、降水日数は約100日と、3日に1回は雨が降っている計算。そんな時、高齢者や子連れのお母さんたちが、傘をさしながら買い物するのは容易ではありません。商店街にはやっぱり雨を防ぐデザインが必要、と私たちは考えました」。

快適性の秘密は、森をイメージしたデザイン

設計を担当した上海生まれの建築家・徐光氏によれば、新

式番街のアーケードを支える支柱は、樹木のフラクタル(幾何学模様)をモチーフにした有機的なデザイン



アーケードの天井は開閉式で、風がよく通る構造になっている

アーケードのデザインイメージは「森」。街路の快適性と環境に配慮したエコなデザインを心がけたとのこと。

天井に使用したガラスはおおよそ3600枚。既存のアーケードに使われるポリカーボネードと比べると、採光性が高く、青空に近い状態で自然光を取り込むことができる。さらに、ポリカーボネードの寿命が15年程度なのに対し、ガラスの耐久性は100年以上。また夜間照明にはLEDを採用するなど、長く使い続けられる設計になっている。

今後は、G街区に同様のアーケードが出来る他、その他の街区でも段階的に導入を検討していく予定だ。

新緑の季節、あなたもそよ風を感じながら新しいアーケードを歩いてみてはいかが?

# Design

丸亀町再開発の中間報告

# 丸亀町がデザインする「まちのかたち」

「広場の復活」

通行量1.5倍、年商約3倍

「商都高松」が復活。

人々が集う「中心」広場」として、ガラスのドームが完成したのは平成20年のこと。「人間中心のまちづくり」を掲げた丸亀町再開発のスタートだった。

ここは江戸時代から「札の辻」と呼ばれ、五街道の帰着点として都市の交流拠点だった場所。人やモノや情報が行き交う要を整備することで、「商都高松」の復活を印象づけた。シンボルとなる広場や街路のデザインは、香川出身でNY在住の美術家、川島猛氏が担当。また、生まれ変わった壱番街には、リニューアルした既存ショップに加えて、話題のナショナルブランドや足りない業種を強化し、年商は開発前の3.3倍に。1日の通行量は1.5倍の1万8000人に増えた。

## 集う

ドーム広場では、週末ごとに年間100本以上のイベントやライブなどが行われ、通行客の目を楽しませている。



## 買う

壱番街のテーマは「大人のまち」。幅広い通路には休憩スポットが設けられ、ゆったりと買い物を楽しめる空間に生まれ変わった。



西館

2006年  
壱番街  
オープン

東館



2007年  
クリスタル  
ドーム完成



竣工式には、ドームで結婚式も行いました。



川島猛さん  
がデザインの  
木のベンチが  
登場!



【商品開発】

讃岐のいいものを生かした  
丸亀町発のものづくりが始まっています！

単にもの売るだけでなく、消費者が求める商品をプロデュースしたり、伝統技術の継承を支援するのも商店街の大切な役割。そんな讃岐の人やモノや技を生かした丸亀町発のものづくりが始まっている。

2010年12月、参番街にオープンした「まちのシューレ963」では、県内外から衣食住に関わる手仕事の品々を集め、新しい讃岐のライフスタイルを提案。伝統工芸の職人や料理人などを招いたワークショップも行っている。また、ソットプロドットによる「丸亀町おみやげものプロジェクト委員会」では、ひびのこずえら気鋭のトップクリエイターや消費者とのコラボで、地元食材を生かした新感覚の讃岐土産を商品化。全国紙で取り上げられ、国立新美術館のミュージアムショップ等でも販売されている。



「シューレの時間」ワークショップ



HappyUDONとEcoUDON



さめぎチュール

## ものづくり

ヌーベル和三盆は県外からの問い合わせも多く、毎月約200個を販売。HappyUDONは「ジャケ買い」をコンセプトに、パッケージのかわいさが若者に支持され、祝い事などにも利用されている。



ヌーベル和三盆



西館

2011年  
ガラスの  
アーケード  
完成



2010年  
参番街  
オープン



東館



2010年

●「ストリート的!!展  
メタモルフォーゼ!!!!  
変身アート」開催



2009年

- 「sottoProdotto」(ソットプロドット)開設  
丸亀町の新しいインキュベーション拠点として  
式番街2号館4Fに事務局兼ギャラリーがオープン
- 「食プロジェクト」スタート





# アート&イベント



「ストリート展」2009



作品がオシャレな  
エコバックに変身!



「文化発信」  
クリエイティブを育てる  
拠点ができました。

商店街の楽しみは買い物だけではない。まちはパブリックな空間、時には地元のアーティストやミュージシャンたちの表現の場になったり、子どもたちの学びの場になったり。式番街の「ソットプロドット」は、そんな商店街でのクリエイティブな活動をマネージメントする拠点だ。商店街を丸ごとアート空間に変身させるアートプロジェクトや、クリエイターや職人たちの活動を支援するアーカイブ、音楽でまちを楽しくするBGMプロジェクトなど、様々な化学反応を起こしながら、まちの「ソットプロドット」副産物」を生み出してきた。発足して2年余り、商店街と地域の交流の輪が育ちはじめている。

丸亀町が初期段階から注力して来たのが、子どものプログラムだ。アートやクラフト教室ではアーティストらを講師に自由な創造性に触れ、職場体験では本物の店舗で「お店屋さん」を体験するなど、幅広く社会学習の場を提供している。



子どもマルシェ



ハロウィンのお面づくり



## ドーム・スナップ

クリスタルドームが七変化!



ファッションショー

盆踊り

スイーツマルシェ

街でオーケストラ

シャンデリアドーム

手づくりエコプラ

夜カフェ

街で「第九」

クリスマス



【まちづくりプロフェッショナル対談】

# これからのまちを、 どうデザインしますか？

土地利用から街を見直す丸亀町の古川康造理事長と、  
「人をつなぐ」というソフトで既存の商業ビルを再生させる山崎亮さん。  
仕組みが先か、人が先か。まったく異なるアプローチで新境地を開くお二人に、  
これからの街のデザインについて聞きました。



keyword 10

## 人と人をつなぐ

**andy** 山崎さんは、10年前から丸亀町商店街には何度も来られているようですが？

**山崎** 来る度に姿が変わっていきすよね。これだけハードが変わる中で、新しい居住者や来街者と、どんな風に交流の場をつくっておられるのか、その仕掛けづくりに興味がありますね。

**古川** 再開発事業Ⅱハード整備と思われがちですが、僕らの開発の神髄は「100年続く新しい街の仕組みをいかにつくるか」。視察の方にもよく「丸亀町は行って話を聞かないとわからない」と言われるんですが、この部分を伝える

のが本当に難しい。ソフトって見えないものでしょ。

**山崎** 大切なのに見えない。コミュニティデザイン、つまり「人と人のつながりをどうつくるか」ってことは、これからのまちをデザインする上で、とても大切になると思います。

**古川** 僕らのスタートは「エリアマネージメント」です。つまり、自分たちの住みたい街を自分たちでつくってしまおうと。

少し歴史の話になりますが、丸亀町は、1588年、高松城築城の際に丸亀から商人を連れてきたのが始まりです。言わば、初代お殿様がタウンマネージャーとして都市の原型をつくったんで

す。そしてその後は「良きに計らえ」とすべてを民に任せただけで、町人自治が根付いた。ここは元来「自分の街のことは自分たちでやる」という精神が、根強く残る地域なんですよ。

**山崎** それは、面白い話ですね。単につながるんじゃなくて、「まち普請」とも言えますか。一緒に街を担っていくこうと。

**andy** でも、新しく丸亀町に住んだり関わったりする人と、街への意識にギャップがあるのでは？

**山崎** コミュニティには2種類あって、丸亀町のような土地でつながる「地縁型」と、共通の興味や趣味などでつながる「テーマ型」のコミュニティがあるんですね。そ



古川 康造

高松丸亀町商店街  
振興組合理事長

昭和32年、香川県高松市丸亀町生まれ。  
少子高齢化社会に対応した新しい  
地方自治組織の創設を目指して、  
中心市街地再生に日々取り組んでいる。  
平成18年度がんばる商店街77選、  
(社)日本都市計画学会石川賞、  
MIPIM ASIA総合大賞ほか受賞



山崎 亮

studio-L代表

京都造形芸術大学教授

昭和48年、愛知県東海市生まれ。  
地域の課題を地域に住む人たちが解決  
するためのコミュニティデザインに携わる。  
著書に「コミュニティデザイン」、  
「ランドスケープデザインの歴史」  
「震災のためにデザインは  
何が可能か(共著)」など



れをどう接続させていくかが大切。例えば、鹿児島島の「マルヤガーデンズ」という百貨店の再生計画に携わった時は、地元の人に買い物以外で百貨店との接点を持つてもらおうと、各階にオープンスペースを設けました。そして地元のNPOや市民団体に定期的にイベントをやってもらって、テーマ型コミュニティと土地との関係づくりをした。

古川 僕らの仕事もまさにステージづくりです。今まで商店街には誰でも自由に使える場所がなかったのですが、僕たちはその解決を土地問題に求めた。つまり、地権者から土地を借りる際、60年間は土地の利用権を放棄する条件で街をいったん白紙にしてから、使う側の立場にたつたステージをつくった。それがクリスタルドームの広場です。

「100年続く、街の新しい仕組みをつくりたい。そのためには、自分が80歳になっても、ここでちゃんと快適に暮らせるかが基準です」 古川 康造



山崎 その時、「こんなステージができたから、さあみなさん寄ってらっしゃい！」と言っただけでは、なかなか人は寄って来ない。やっぱり「コーディネート」が必要じゃありませんか？ 僕らも地域に入る時は必ず最初に、100件、200件のNPOや市民団体にヒアリングに行くんです。「困ったことないですか？」って。そして用意したステージで解決できることがあれば、「じゃあ、うちでやってくださいよ」と。最初の一年くらいは、そんな関係づくりを徹底してやるようにしていますね。

山崎 一方で、住民として新たに引越して来た人たちは、地域とどう関わっていったらいいんでしょう？

山崎 今回、東日本大地震のニュースを見る度に、僕らは地方都市がこれから抱える問題を一気に早送りで見せられていると感じます。例えば、仮設住宅に誰を優先して入居させるか。阪神大震災の時は、高齢者と障害者を優先しました。それは人道的には正解でもコミュニティとして見ると、その人たちはいろんな人の支えの中で生きてきたのに、その関係性を断つて入居させてしまった結果、3年で200人も孤独死を生んでしまったんです。

Keyword 02  
オリジナルの  
コミュニティをつくる



対談を終えて、新しくなった商店街を見学。「これからこの街がどう根づいていくかが楽しみです」と山崎さん

じつは同様のことが、被災地に限らず、日本中の市街地やマンションでも起きています。最近ではみなさん物件ありきで動きますから、知らない土地でも普通に引越すでしょ。ただそういう孤立した状態から、どう地域との結びつきを再構築するかってことが、これからますます求められるようになってくると思います。

古川 丸亀町はバブル期に地価が高騰して人が住めない街になってしまった過去があります。そもそも今回の再開発は、商店の再生以前に居住者をどう取り戻すかが大命題。そのためには、快適な住環境をいかにつくるか。充実

した医療や安全な食材を買える市場があって、車がなくてもすべて徒歩で事足りる。どこより住みやすい街を実現できれば、自然と人は動くんじゃないかな。

山崎 もちろん、自然発生的に動く部分もあるし、プロのつなぎ役が必要な部分もあると思います。先ほどのマルヤガーデンズでは、「カルティーター―耕す人」と呼ばれる人たちと、コミュニティ活動の情報発信づくりに取り組んでいきます。具体的に言うと、まずマルヤガーデンズのために何かしたいという人を募集して、プロの講師による無料講座を開くんです。インタビューの方法や文章の書き方、写真の撮り方やブログのアップ方法などを学んで、最後は団結式で終了。そして終了生の中からチームを組んで、マルヤガーデンズで行われる数々のイベントを取材して、発信してもらっています。最初は趣味つながりだった人も、発信する情報を探したりいろんな人を取材しているうちに、マルヤガーデンズが自分の場所だという愛着が芽生えてきているみたい。

keyword 03  
まちづくりを  
多層的に編集する

古川 コミュニティを耕す人、それ

はとても重要な役割ですね。一方で、そうした細やかな公的サービスを維持するには、財源確保の仕組みも大事ですね。

山崎 おつしやるとおり！「まちづくり」と言っても、今は、経済系、工学系、福祉系、教育系など、いろんなレイヤーがいくつも重なって街を構成しています。例えば、趣味やフィールドワークといったほんわか系のまちづくりでは、直接お金儲けの話をすることはありませんが、どこかで必ず経済系のまちづくりとリンクしておくことが大切。それぞれ目的が違うからこそ、役割分担して、上手くいくことがある。

古川 レイヤーを編集する人ですね。

山崎 逆に、それをごちゃ混ぜにしちゃうと、いろんなトラブルが起こります。みんな一生懸命やっていて、誰も間違っていないのに、何も進まないという不幸な状態。

古川 商店街でも、販売人は人に大勢来てほしいし、住民は静かに暮らしたい。相反する意見を調整するのは長年の課題でした。かつては商住一体の店が多かったのですが、販売人がまちづくりを兼務してきたんですが、これからはやはり居住者主導で行うのが自



# さぬきの 旬を味わう 12カ月

第二回  
豊島レモン  
ミカン科



丸亀町式番街で始まった食プロジェクトは、

「安全で美味しい食は、まず食材の

生産現場を知ることから」と考えます。

今回の食材は、全国的にも珍しい、

無農薬で栽培されている

豊島レモンです。



## 日本のレモン・豊島レモン

日本で流通しているレモンのはほとんどは、外国産です。しかし、輸入物のかんきつ類は、収穫後に殺菌剤や防かび剤などポストハーベスト農薬が使用されていることがほとんどで、無農薬・低農薬がうたわれる昨今において問題視されています。

しかし、わずかながら日本でも栽培されています。レモンは平均気温15度前後の温暖な気候で育ち、潮風に強いいため、広島県や愛媛県、香川県など瀬戸内海地方や和歌山県で栽培されています。

豊島と小豆島では、10年前から無農薬栽培が始まり、「豊島レモン」のブランドで全国に流通しています。品種は、「リスボン」と「ユレカ」の2種。接木で増殖した苗を植えてから、約4年で収穫できる大きさの実が生ります。

## 黄色に熟したレモンが再び緑へ?

花が咲くのは5〜6月、7〜8月、10〜11月の年3回。10〜11月に咲いた花は、冬の寒さでほとんど実が生りません。また、3年目ぐらまでは、実が生ったとしても小さいうちに摘み取ります。これは、まず樹木を大きく生長させるため。4年目以降になると、5〜6月に咲いた花が11月に緑色の実をつけ、黄色に色づいた12月から少しずつ

◎樹齢4〜6年

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花					■		■			■		
実	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

◎樹齢7年以上

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花					■		■			■		
実	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■

■ 春咲きの花と、そこから生る実  
■ 秋咲きの花  
■ 夏咲きの花と、そこから生る実



## レモン(全果)の栄養価

エネルギー…54kcal、たんぱく質…0.9g、脂質…0.7g  
炭水化物…12.5g、ナトリウム…4mg、ビタミンC…100mg  
ビタミンCとクエン酸が多く含まれます。クエン酸は疲労回復効果があります。  
ビタミンCはコラーゲンの合成を助け、皮膚や骨、血管などを丈夫にする働きがあります。



豊島の肥沃な大地と  
太陽や潮風が  
化学肥料要らずの  
美味しいレモンを作る

岡本さんのレモン畑は、島内10カ所に点在。8000本を、一人で育てている。さらに小豆島の2000本を知人に任せているから、豊島レモンは合わせて1万本にもなる



鮮やかなグリーンレモン。1ヶ月かけて徐々に黄色になっていく

春、瀬戸内海がキラキラと輝きだす季節。点々と浮かぶ島々のなかで小豆島に次いで大きい豊島が、全国でも珍しい無農薬レモン誕生の舞台だ。栽培を始めたのは岡本満さん63歳。豊島生まれで、高校卒業と同時に大阪で就職したが、10年ほど前に、家族を残して単身で島に戻った。どうしてー？

大阪では、バイヤーとして生鮮品の最前線にいた。やがてアトピーが世間で騒がれ、農薬を使わない食材を求める世の母親たちを見て、「多くの人に、安心安全な野菜を安く届けたい」と思うようになる。そうして、いよいよ実行に移そうと戻ったとき、ふるさとの豊島は産業廃棄物不法投棄事件で有名な島になっていた。

「ゴミの島で農業をやるなんて！と、最初は周りの人に止められたで」。しかし、それが岡本さん

翌年、豊島に250本のレモンが植えられた。年を経るごとに植える本数は増えた。苗木から実が生るまで3、4年はかかるから、成功するかどうか分からぬまま、苗木だけ増えていった。朝から晩まで耕作放棄地を一人で開墾してはレモン畑を作り、肥



(上)草抜き作業も1人で行う  
(下)豊島レモンで作ったマーメイド



「60歳から始めても夢を実現させるのに遅くない!」と語る岡本満さん

を発奮させ、1年目に作ったミニトマトはみごとに出来栄えだった。そんなある日、近所で野生のレモンを見つけた岡本さんは衝撃を受ける。「長くこの業界におったけど、国産レモンを見たのは初めてやった」。

「翌年、豊島に250本のレモンが植えられた。年を経るごとに植える本数は増えた。苗木から実が生るまで3、4年はかかるから、成功するかどうか分からぬまま、苗木だけ増えていった。朝から晩まで耕作放棄地を一人で開墾してはレモン畑を作り、肥

やしづくりの草抜きをする日々。「2日中、一人で草抜きをして辛くないですか?」と訊くと、岡本さんは間髪入れず「楽しい!」と答えた。「暑いのも寒いのも、生きている証。それを実感しながら草を刈る。だから楽しい」。

岡本さんには、栽培方法以外にもう一つこだわりがある。それは、岡本レモンではなく「豊島レモン」として全国に広めること。自分が育った島を「ゴミの島」と言われた過去への挑戦なのかもしれない。

(山下亜希子)



## セレクトショップ×BOOKカフェ×エステ 「レオニア」オープン

丸亀町参番街東館1階に、BOOKカフェを併設したアウトドアグッズのセレクトショップ「レオニア」が、オープンしました。店内は、天然木やアイアンを使い自然の温もりを感じるインテリア。広いフロアには子育てママや学生、ビジネスマン、シニアなどあらゆる人たちが居心地よく過ごせるヒミツが詰まっています。

ショップ・ピクニック

訪れるたびに楽しいアウトドアショップ。県内ではレアなブランドも！レディス、メンズ、キッズのアウトドアショップ。機能性とファッション性を兼ね備えたアイテムがカラフルに並びます。イギリスの「Burghaus（バーグハウス）」や、ドイツで人気の「maloja（マローヤ）」など、香川では珍しいブランドも登場です。アイテムやブランドは増えていく予定。行くたびに楽しい刺激が待っています。



### ■セレクトショップ

参加する

香川の自然を楽しむためのアウトドアツアー。仲間も増えそう！ショップ内のツアーデスクでは、カヌーやトレッキングなど、香川の海・川・山をもっと楽しむためのアウトドアツアーを企画。初心者から中級者まで、ニーズにあわせたアウトドアツアーをご案内します。仕事や子育てで最近アウトドアから遠ざかってきた人も、ツアーに参加することで自然にアウトドア仲間が増えていくはず！



### ■アウトドアツアーデスク

知る

趣味を共にする人たちの交流の場に。憩いのBOOKカフェ。アウトドア関連書や旅の本、子育て本、絵本など幅広いジャンルの本が並ぶBOOKカフェ。本を見ながら旅の計画を立てるのにも便利です。気になるメニューは、絵本をテーマにした手づくりランチ（予定）や、特製スイーツもいろいろ。天然木のテーブルと座り心地のよいチェアで、ついつい長居してしまいそう…。隣には、完全個室のボディエステルームもあります。



### ■BOOKカフェ



### ■プレイルーム

ロフトスペースは、おもちゃや絵本が揃ったプレイルーム！ガラス張りなので、ショップ・カフェどちらにいても子どもの様子がうかがえます。



### ■授乳室

ゆったりとしたソファと間接照明で、まるでリビングのような授乳室。おむつ替え台や粉ミルク用のお湯が入ったポットも用意。



### ■ワークショップ

ベビーマッサージ教室や、子どもたちの植物研究ワークショップなど、人と自然がつながる企画を計画中。

編集・制作 「anki」編集委員会

編集長 小西智都子

アート・ディレクター 仁田貴夫

エディター 小西智都子

山下亜希子

三村真衣子

仁田貴夫

デザイナー 仁田貴夫

小西智都子

フォトグラファー 仁田貴夫

GABOMI (p-1)

篠原秀宜 (p-5~8人物)

山下亜希子 (p-11,12)

アーキペラゴ (p-12商品)

発行 高松丸亀町商店街

振興組合

〒760-0029

香川県高松市丸亀町  
 13番地2 丸亀町ビル4F

tel.087-823-0001

fax.087-823-0730

E-mail.

tsanki@sottoprodotta.com

URL.

http://www.kame3.jp

・ G 街 区 レ ポ ー ト ・



亀井戸水神社

名前の由来は、湧き水のでる穴が瓶(かめ)形であることから



戸隠神社

神社の中の鎮玉神社にお参りすると「失せ物がでてくる」とか

2012年のオープンを目指し、着々と工事が進む丸亀町G街区。その工事中のフェンスの中で、2つの神様がお引越しの準備を整えている。

G街区には、もともとアーケードを挟んで神社が2つあり、西側には高松三大井戸の一つである「亀井戸水神社」が、東側には田の神様を祀る「戸隠神社」があった。どちらも江戸時代から人々に大切にされてきたまちの守り神だ。

「私が若い頃は、毎年夏になると盛大に亀井戸水神社の水神祭をやったもんです」と懐かしそうに語るのには、G街区再開発組合の星野稔夫さん。星野さんは丸亀町青年会の協力のもと、10年前、G街区の再開発を機に、長らく途絶えていた水神祭を復活させた。「神

丸亀町の水神さんと戸隠さんが再開発を機にお引越し

社はもともと人が集い、憩う場。今度は休憩スペースもつくって、来街者が気軽に立ち寄れる身近な場所にしたい。もちろん祭りも続け「ますよ」と新神社への思いを語った。

新しい社殿は、元の場所のほど近くに復元され、向きも江戸時代に則って修正されるとか。新しく生まれ変わったG街区とともに、丸亀町へ来たなら、ぜひ一度はお参りしたいものだ。



G街区完成予想模型

国道や繁華街に面した通りに移設することで、今までよりも人がよりお参りしやすくなる。神様には、以前にも増して居心地よく過ごしていただきたい。



毎年7月に行われる水神祭。商店街の人たちによる出店で賑わう



高松スタイル「anki」へのご意見、ご感想やご質問などをお寄せください。



# 丁寧な検査をくり返し、心地よい最適なレンズを探す。 そして、ちょっと変わったオシャレなめがねが作れたら最高!

めがね作家内原氏は、とにかく検査には自信がある。細かく検査する。資格も持っている。自分自身を「検査オタク」、「調整オタク」、「レンズオタク」と表現する。延々5時間、検査・調整を続けたこともあるらしい。心地よいフィッティングは、市販めがねではありえない丁寧な検査と調整から生まれる。奇抜な風貌からは想像できない、本格派のめがね作家だ。



※2 並外

## はじめの オリジナルめがね作り

【めがね中年おじさんの体験レポート】



### 0. 顔(頭蓋骨)のサイズ測定

色々なサイズのめがねをかけて最適なめがねのサイズを探す。私は特に顔がでかく、幅広…



本顔で  
小太りのおじさん  
おびこびこも!  
おまけに短足…



完成した  
めがね!

### 6. 最終調整

特注オリジナルめがねは、完成後フィッティングやレンズ調整など、自分の眼鏡として愛着が持てるように様々な最終調整をしてもらえ。いよいよ、オリジナルめがねが完成だ。

### 1. 瞳孔間距離測定

スコop型の測定器をのぞく。※1  
反対側からのぞくと、依頼者の眼の瞳孔間距離が分かる。



### 5. 眼鏡のデザイン・色・素材決定

丸、三角、四角。どんなめがねでも作ってくれる。アトリエ兼作業場には、普通のめがね店ではお目にかかれない変わったデザインのめがねがたくさん並んでいる。お手ごろな既製品もある。

### 2. 視力検査(簡易版)

太い丸太を削った椅子に座ると、見なれた検査表が目の前に。簡単に視力を測定。そして、木枠にレンズが並んだ素朴な器具で、おおまかに合わせた矯正レンズを探す。※2



丸太削っただけ  
のサイズ!!



### 4. 圧迫感調整

近視や乱視は、数値的に完璧に矯正するわけではない。※4  
違和感がなく、眼が疲れにくい矯正度合いを探す。  
「低矯正」「過矯正」といい、依頼者により調整度合いが変わる。普通は5~10通りぐらいの組み合わせで矯正できるが、私は右目が「直乱視」、左目が「倒乱視」だった… ※5

### 3. 近視・乱視精密検査

金属製の測定めがねにレンズを次々に入れ替え、左右の眼の精密検査。近視や乱視の程度を測定。※3  
様々な組み合わせを試し、最適な矯正レンズを探す。



赤 緑



プロっぽい…

## あなたの『完全手作り・特注めがね』を作りませんか?!

- ※特別注文製作(検眼・デザイン・素材選択・完成後調整などフルオーダー)
- ※ご提供価格: ¥50,000円 ※10本限定
- ※ご注文受付: Tel.0879-23-6171 (Anki-7号を見たご注文ください)
- ※素材カラー: 自由選択(ストック素材内からお選びください)

内原弘文: 1972年香川県香川郡香川町生まれ。  
県立香川中央高校卒業後、日本眼鏡技術専門学校入学。  
主席で卒業。眼鏡士資格取得。大阪で4年間眼鏡店勤務。  
1998年1月に帰郷、アイアイズに入社。眼鏡部門立ち上げ。  
2005年10月退社。翌年「隠れ屋1632」正式オープン。  
個展やアートイベントを通じて、個性的な風貌とめがねで  
様々な分野で話題を集めた。瀬戸内芸術祭2010にも参加。

# 隠れ屋1632

◎お問合せ先: 隠れ屋1632 内原弘文  
住所: 基本的に秘密(高松空港近くです)  
Tel.087-879-6433 [www.kakureya1632.com](http://www.kakureya1632.com)





ふざけたメガネを、  
滅茶苦茶まじめに  
作りたい。





高松スタイル  
**anki**  
あんき-7号

2011年4月発行

TAKE FREE